

（1）大学・学科の設置理念

① 大学

大和大学は、設置母体の学校法人西大和学園設立の精神である「国づくりは人づくりから」を柱に『高い専門性と幅広い視野を授けるとともに、豊かな人間性を涵養し、一人ひとりの「ひと」を見つめ、学術文化の向上と社会の発展に貢献する有能な人材』を養成することを設置理念に掲げる教育学部、保健医療学部、政治経済学部、理工学部、社会学部、情報学部の理系・文系計6学部9学科からなる総合大学である。

② 学科等（認定を受けようとする学科等のみ）

◆政治経済学部 政治・政策学科

政治経済学部は、「政治、経済の各分野を広く俯瞰し、各分野における豊かな専門的知識・理論に裏打ちされた実学的・実践的視点をもった人材」、政治・政策学科は、「国・地域社会が抱える諸問題を深く洞察し、課題解決に適切にあたる政策的発想力、明日を切り拓く実行力を備えた豊かな社会づくりに貢献する人材」を養成することを設置理念とする。

◆政治経済学部 経済経営学科

政治経済学部は、「政治、経済の各分野を広く俯瞰し、各分野における豊かな専門的知識・理論に裏打ちされた実学的・実践的視点をもった人材」、経済経営学科は、「経済に関する理論、歴史、政策等に関する知識を備え、国際的な視野に立って豊かな社会、暮らしの構築に尽くす人材や、経営に関する幅広い知識を基礎に、経営管理、新たなビジネスの創造、金融関連業種、会計領域職種等で活躍する人材」を養成することを設置理念とする。

◆政治経済学部 グローバルビジネス学科

政治経済学部は、「政治、経済の各分野を広く俯瞰し、各分野における豊かな専門的知識・理論に裏打ちされた実学的・実践的視点をもった人材」、グローバルビジネス学科は、「社会の国際化に対応し、経営学に関する学識とともに、国際的な視野、実践的な知識、能力を有する世界を舞台に活躍するグローバルビジネス人材」を養成することを設置理念とする。

◆情報学部 情報学科

情報学部情報学科は、『「情報学」を基軸とする情報科学、社会科学の文理融合の学びにより、多角的な視点で情報をとらえ、課題解決に意欲的に取り組み、社会の発展と豊かな暮らしの創造に貢献する人材』を養成することを設置理念とする。

(2) 教員養成の目標・計画

① 大学

学園設立の精神の「国づくりは人づくりから」、また、大学の設置理念の『高い専門性と幅広い視野を授けるとともに、豊かな人間性を涵養し、一人ひとりの「ひと」を見つめ、学術文化の向上と社会の発展に貢献する有能な人材』を養成することを柱に、開学と同時に開設した「教育学部」を基軸に、「開放性教員養成制度」の趣旨に則り、学位プログラムと関連性の深い教職課程を開設し、教育者としての使命感、人間の成長・発達についての深い理解、子どもに対する教育的愛情、教科に関する専門的知識、広く豊かな教養、これらを基盤とした実践的指導力とともに、変化する時代に不断に最新の専門的知識や指導技術等を身に付けようとする「学びの精神」をもった教員を養成し、社会の発展に寄与することを教育養成の目標とする。

また、これら教員養成の実践にあたっては、学位プログラムの体系性と同時に、教職課程としての体系性にも配慮した教育課程を編成し、教職課程履修者が、高い専門性ととともに、教育者としての資質を身につける学びを展開する計画である。

② 学科等（認定を受けようとする学科等のみ）

◆政治経済学部 政治・政策学科

学部学科が掲げる養成する人材像の「政治、経済の各分野を広く俯瞰し、各分野における豊かな専門的知識・理論に裏打ちされた実学的・実践的視点をもった人材」、「国・地域社会が抱える諸問題を深く洞察し、課題解決に適切にあたる政策的発想力、明日を切り拓く実行力を備えた豊かな社会づくりに貢献する人材」を基礎に、社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する学びを実践する教員を養成することを目標とする。

この目標実現に向け、学位プログラムの教育課程の専門教育科目区分を中心に、教科に関する専門的事項に関する科目とともに、関連科目を充実開設し、高い専門性と教育者と資質を備えた教育者を養成する計画である。

◆政治経済学部 経済経営学科

学部学科が掲げる養成する人材像の「政治、経済の各分野を広く俯瞰し、各分野における豊かな専門的知識・理論に裏打ちされた実学的・実践的視点をもった人材」、「経済に関する理論、歴史、政策等に関する知識を備え、国際的な視野に立って豊かな社会、暮らしの構築に尽くす人材や、経営に関する幅広い知識を基礎に、経営管理、新たなビジネスの創造、金融関連業種、会計領域職種等で活躍する人材」を基礎に、社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する学びを実践する教員を養成することを目標とする。

この目標実現に向け、学位プログラムの教育課程の専門教育科目区分を中心に、教科に関する

る専門的事項に関する科目とともに、関連科目を充実開設し、高い専門性と資質を備えた教育者を養成する計画である。

◆政治経済学部 グローバルビジネス学科

学部学科が掲げる養成する人材像の「政治、経済の各分野を広く俯瞰し、各分野における豊かな専門的知識・理論に裏打ちされた実学的・実践的視点をもった人材」、「社会の国際化に対応し、経営学に関する学識とともに、国際的な視野、実践的な知識、能力を有する世界を舞台に活躍するグローバルビジネス人材」を基礎に、社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する学びを実践する教員を養成することを目標とする。

この目標実現に向け、学位プログラムの教育課程の専門教育科目区分を中心に、教科に関する専門的事項に関する科目とともに、関連科目を充実開設し、高い専門性と資質を備えた教育者を養成する計画である。

◆情報学部 情報学科

情報学部情報学科が掲げる養成する人材像の『「情報学」を基軸とする情報科学、社会科学の文理融合の学びにより、多角的な視点で情報をとらえ、課題解決に意欲的に取り組み、社会の発展と豊かな暮らしの創造に貢献する人材』を基礎に、情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育成する学びを実践する教員を養成することを目標とする。

この目標実現に向け、学位プログラムの教育課程の専門教育科目区分を中心に、教科に関する専門的事項に関する科目とともに、関連科目を充実開設し、高い専門性と資質を備えた教育者を養成する計画である。

(3) 認定を受けようとする課程の設置趣旨（学科等ごとに校種・免許教科別に記載）

◆政治経済学部 政治・政策学科

「中学校教諭一種免許状（社会）」

社会科教員に求められる「広い視野、社会に対する関心、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察する力、我が国の国土と歴史に対する愛情と理解、国際社会に生きるものとして求められる資質を養う学び」を実践する専門的知識、能力は、本学部学科が掲げる「政治、経済の各分野を広く俯瞰し、各分野における豊かな専門的知識・理論に裏打ちされた実学的・実践的視点をもった人材」、「国・地域社会が抱える諸問題を深く洞察し、課題解決に適切にあたる政策的発想力、明日を切り拓く実行力を備えた豊かな社会づくりに貢献する人材」の養成する人材像に沿うものであり、本学部学科の学位プログラムの履修と同時に、教職課程プログラムを

体系的に履修することにより、社会に貢献する社会科教員を世に輩出することは非常に意義深く、有意であることから、中学校教諭一種免許状（社会）の教職課程を設置することとした。

「高等学校教諭一種免許状（公民）」

公民科教員に求められる「選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能、現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有意な形成者に必要な公民としての資質・能力を養う学び」を実践する専門的知識、能力は、本学部学科が掲げる「政治、経済の各分野を広く俯瞰し、各分野における豊かな専門的知識・理論に裏打ちされた実学的・実践的視点をもった人材」、「国・地域社会が抱える諸問題を深く洞察し、課題解決に適切にあたる政策的発想力、明日を切り拓く実行力を備えた豊かな社会づくりに貢献する人材」の養成する人材像に沿うものであり、本学部学科の学位プログラムの履修と同時に、教職課程プログラムを体系的に履修することにより、社会に貢献する公民科教員を世に輩出することは非常に意義深く、有意であることから、高等学校教諭一種免許状（公民）の教職課程を設置することとした。

◆政治経済学部 経済経営学科

「中学校教諭一種免許状（社会）」

社会科教員に求められる「広い視野、社会に対する関心、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察する力、我が国の国土と歴史に対する愛情と理解、国際社会に生きるものとして求められる資質を養う学び」を実践する専門的知識、能力は、本学部学科が掲げる「政治、経済の各分野を広く俯瞰し、各分野における豊かな専門的知識・理論に裏打ちされた実学的・実践的視点をもった人材」、「経済に関する理論、歴史、政策等に関する知識を備え、国際的な視野に立って豊かな社会、暮らしの構築に尽くす人材や、経営に関する幅広い知識を基礎に、経営管理、新たなビジネスの創造、金融関連業種、会計領域職種等で活躍する人材」の養成する人材像に沿うものであり、本学部学科の学位プログラムの履修と同時に、教職課程プログラムを体系的に履修することにより、社会に貢献する社会科教員を世に輩出することは非常に意義深く、有意であることから、中学校教諭一種免許状（社会）の教職課程を設置することとした。

「高等学校教諭一種免許状（公民）」

公民科教員に求められる「選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能、現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有意な形成者に必要な公民としての資質・能力を養う学び」を実践する専門的

知識、能力は、本学部学科が掲げる「政治、経済の各分野を広く俯瞰し、各分野における豊かな専門的知識・理論に裏打ちされた実学的・実践的視点をもった人材」、「経済に関する理論、歴史、政策等に関する知識を備え、国際的な視野に立って豊かな社会、暮らしの構築に尽くす人材や、経営に関する幅広い知識を基礎に、経営管理、新たなビジネスの創造、金融関連業種、会計領域職種等で活躍する人材」の養成する人材像に沿うものであり、本学部学科の学位プログラムの履修と同時に、教職課程プログラムを体系的に履修することにより、社会に貢献する公民科教員を世に輩出することは非常に意義深く、有意であることから、高等学校教諭一種免許状（公民）の教職課程を設置することとした。

◆政治経済学部 グローバルビジネス学科

「中学校教諭一種免許状（社会）」

社会科教員に求められる「広い視野、社会に対する関心、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察する力、我が国の国土と歴史に対する愛情と理解、国際社会に生きるものとして求められる資質を養う学び」を実践する専門的知識、能力は、本学部学科が掲げる「政治、経済の各分野を広く俯瞰し、各分野における豊かな専門的知識・理論に裏打ちされた実学的・実践的視点をもった人材」、「社会の国際化に対応し、経営学に関する学識とともに、国際的な視野、実践的な知識、能力を有する世界を舞台に活躍するグローバルビジネス人材」の養成する人材像に沿うものであり、本学部学科の学位プログラムの履修と同時に、教職課程プログラムを体系的に履修することにより、社会に貢献する社会科教員を世に輩出することは非常に意義深く、有意であることから、中学校教諭一種免許状（社会）の教職課程を設置することとした。

「高等学校教諭一種免許状（公民）」

公民科教員に求められる「選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能、現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有意な形成者に必要な公民としての資質・能力を養う学び」を実践する専門的知識、能力は、本学部学科が掲げる「政治、経済の各分野を広く俯瞰し、各分野における豊かな専門的知識・理論に裏打ちされた実学的・実践的視点をもった人材」、「社会の国際化に対応し、経営学に関する学識とともに、国際的な視野、実践的な知識、能力を有する世界を舞台に活躍するグローバルビジネス人材」の養成する人材像に沿うものであり、本学部学科の学位プログラムの履修と同時に、教職課程プログラムを体系的に履修することにより、社会に貢献する公民科教員を世に輩出することは非常に意義深く、有意であることから、高等学校教諭一種免許状（公民）の教職課程を設置することとした。

◆情報学部 情報学科

「高等学校教諭一種免許状（情報）」

情報科教員に求められる「課題や目的に応じて情報手段を適切に活用することを含めて、必要な情報を主体的に収集・判断・表現・処理・創造し、受け手の状況などを踏まえて発信・伝達できる能力や、情報活用の基礎となる情報手段の特性の理解と、情報を適切に扱ったり、自らの情報活用を評価・改善するための基礎的な理論や方法の理解や、社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割や及ぼしている影響を理解し、情報モラルの必要性や情報に対する責任について考え、望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度を養う学び」を実践する専門的知識、能力は、本学部学科が掲げる『「情報学」を基軸とする情報科学、社会科学の文理融合の学びにより、多角的な視点で情報をとらえ、課題解決に意欲的に取り組み、社会の発展と豊かな暮らしの創造に貢献する人材』の養成する人材像に沿うものであり、本学部学科の学位プログラムの履修と同時に、教職課程プログラムを体系的に履修することにより、社会に貢献する情報科教員を世に輩出することは非常に意義深く、有意であることから、高等学校教諭一種免許状（情報）の教職課程を設置することとした。

様式第7号イ

I. 教職課程の運営に係る全学的組織及び各学科等の組織の状況

(1) 各組織の概要

①

組織名称：	教務会議
目的：	学生の教職課程履修指導とチェック管理
責任者：	教務会議議長
構成員(役職・人数)：	教務部長、社会学部社会学科教務担当者、教育学部教育学科教務担当者 政治経済学部政治・政策学科教務担当者、政治経済学部経済経営学科教務担当者 政治経済学部グローバルビジネス学科教務担当者 情報学部情報学科教務担当者
運営方法：	月1回、教務会議を開催し、主に様々な教務関係業務についての協議を行うが、その中で教職課程履修指導計画、履修状況の把握、学生の成績管理等についての協議を行う。各学科・専攻教務担当者は、当該学科・専攻における学生の教職課程の履修状況、出席状況、成績状況の管理に努める。

②

組織名称：	教育実習部
目的：	教育実習状況の把握と改革・改善
責任者：	教育実習部長
構成員(役職・人数)：	教育実習部長、事前事後指導教官、実習指導担当教官(5人)
運営方法：	月1回、教育実習部会議を開催する。各実習期間中に原則毎日実施する実習指導報告会にて教職課程履修者の実習状況の把握と指導を行うとともに履修指導の支援、相談にあたる。会議の内容をもとに、各学部の教職委員会委員と連携を図る。

③

組織名称：	教職支援センター
目的：	教職課程の安定的・効果的な運営と教員養成の運営全般に関する全学的な調整
責任者：	教職支援センター長
構成員(役職・人数)：	教職支援センター長、教職支援センター員(11人)
運営方法：	教職支援センター業務の適正かつ円滑な運営を期するため、教職支援センター委員会を置いて、定期的に委員会を開催する。委員会では教員の養成に係る業務などについて協議する。会議の内容をもとに、各学部の教職委員会委員と連携を図る。

様式第7号イ

Ⅱ. 都道府県及び市区町村教育委員会、学校、地域社会等との連携、協力に関する取組

(1) 教育委員会との人事交流・学校現場の意見聴取等

特になし

(2) 学校現場における体験活動・ボランティア活動等

①

取組名称： 中学校・高等学校教員体験

連携先との調整方法： 西大和学園中学・高等学校担当者と本学中高教員体験担当者間で協議

具体的な内容： 中学・高等学校教員希望の学生対象に実施する。1年次～2年次に西大和学園中学・高等学校の学校行事体験や授業見学などの実際の教育現場を体験することによって現場の教員や生徒から様々なことを学び、教員志望のモチベーションを高める。

②

取組名称： 中学校教員体験

連携先との調整方法： 吹田市教育委員会担当者と本学中学校教員体験担当者間での協議

具体的な内容： 中学校教員志望者の学生対象に実施する。1年次～2年次に吹田市の中学校の学校行事や様々な活動に参加しながら実際の教育現場で教員や生徒とともに過ごすことによって様々なことを学び、教員志望のモチベーションを高める。

Ⅲ. 教職指導の状況

○ 教職指導ガイダンス 1年次の4月に各学部の学生対象に説明会を実施。各免許資格の教育課程、履修方法、実習体制等についての説明を「学生便覧」を配布し行う。

○ 履修指導・相談対応 各クラス担任による個別面談、履修指導を実施する。

様式第7号ウ

＜政治・政策学科＞（認定課程：中学校教諭一種免許状（社会））

(1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	履修カリキュラムに示した当該学期配当の科目について、それぞれの内容の理解、知識・技能を身に付ける。 大学における初めての学びとなるこの学期において、さまざまな分野の入門レベルの科目や、施行規則第66条の6に関する科目、また、教職課程に関連する科目を修得することで、教員に求められる視野を形成する基盤をつくることを目指す。
	後期	履修カリキュラムに示した当該学期配当の科目について、それぞれの内容の理解、知識・技能を身に付ける。 前期において大学の学びを身をもって経験したこの学期において、前期から継続して学ぶ科目や、新たに学ぶさまざまな分野の入門レベルの科目を修得することで、教員に求められる視野を形成する基盤を広げることを目指す。
2年次	前期	履修カリキュラムに示した当該学期配当の科目について、それぞれの内容の理解、知識・技能を身に付ける。 1年次に形成した基盤の上に、歴史、法律、政治、経済、その他関連する分野に関する概論科目を修得して、その学びを教科の指導に生かせる力の養成を目指す。また、教育の基礎的な理解に関する科目についても学ぶことで、教育の理論と方法を身に付け、教科指導法をもとに、教員に求められる実践的な専門性を広げることを目指す。
	後期	履修カリキュラムに示した当該学期配当の科目について、それぞれの内容の理解、知識・技能を身に付ける。 前期において修得した分野に関連する科目を修得して、その学びを教科の指導に生かせる力の養成を目指す。また、教育の基礎的な理解に関する科目についても前期から継続して学びを広げることで、教育の理論と方法を身に付け、教員に求められる専門性を広げることを目指す。
3年次	前期	履修カリキュラムに示した当該学期配当の科目について、それぞれの内容の理解、知識・技能を身に付ける。 今までに修得した科目をもとに、総合的探求指導法を修得し、教育の理論や方法を身に付け、更に教員に求められる専門性を高めることを目指す。
	後期	履修カリキュラムに示した当該学期配当の科目について、それぞれの内容の理解、知識・技能を身に付ける。 今までに修得した科目をもとに、教育の方法技術を修得し、教育の理論や方法を身に付け、更に教員に求められる専門性を高めることを目指す。
4年次	前期	履修カリキュラムに示した当該学期配当の科目について、それぞれの内容の理解、知識・技能を身に付ける。 後期に教育実習を行うことを念頭に置いて、これまでに修得した、日本史及び外国史、地理学（地誌を含む。）、法律学、政治学、社会学、経済学、哲学、倫理学、宗教学などそれぞれに関連する科目で修得した学びや、当期の教育の基礎的な理解に関する科目、道徳、生徒指導理論法の学びを、後期の実習において生かせる力の養成を目指す。それとともに、教員に求められる資質及び能力を高めることを目指す。
	後期	履修カリキュラムに示した当該学期配当の科目について、それぞれの内容の理解、知識・技能を身に付ける。 入学以来積み上げてきた各期の座学における学びを踏まえ、学校現場において実習することで、実践力の養成を目指す。実習を通じて、教員として子どもにかけられる情熱を確かなものにするともに、開かれた社会性の涵養を目指す。

様式第7号ウ（教諭）

＜政治・政策学科＞（認定課程：中学校教諭一種免許状（社会））

(2)具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称				
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期					
1年次	前期		法学概論		日本国憲法	生活文化概論
			政治学入門		スポーツ I	
			経済学基礎		英語 I	
					AI・データサイエンス入門	
					情報処理 I A	
					情報処理 I B	
	後期		地理学		スポーツ II	近現代史
			社会学概論		英語 II	日本国憲法持論
			哲学概論			行政学
2年次	前期	中等教科教育法(社会) I・II	宗教と社会			議会政治論
		教育基礎論				日本政治史
		教師論				地方自治論
						経済史
	後期	中等教科教育法(公民) I・II	日本史概論			マスメディア論 I
		教育制度論	外国史概論			
		特別支援教育	倫理学入門			
		教育相談				
3年次	前期	教育心理学				比較政治学
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法				政治哲学
						欧米政治史
	後期	教育の方法技術				アジア政治史
						国際機関論
						発展途上国論
4年次	前期	教育課程論				日本の政治と外交
		道徳理論と指導法				平和安全保障論
		生徒・進路指導論				
		中等教育実習事前事後指導				
	後期	教職実践演習(中・高)				
		中等教育実習 I・II				

様式第7号ウ

＜政治・政策学科＞（認定課程：高等学校教諭一種免許状（公民））

(1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	履修カリキュラムに示した当該学期配当の科目について、それぞれの内容の理解、知識・技能を身に付ける。 大学における初めての学びとなるこの学期において、さまざまな分野の入門レベルの科目や、施行規則第66条の6に関する科目、また、教職課程に関連する科目を修得することで、教員に求められる視野を形成する基盤をつくることを目指す。
	後期	履修カリキュラムに示した当該学期配当の科目について、それぞれの内容の理解、知識・技能を身に付ける。 前期において大学の学びを身をもって経験したこの学期において、前期から継続して学ぶ科目や、新たに学ぶさまざまな分野の入門レベルの科目を修得することで、教員に求められる視野を形成する基盤を広げることを目指す。
2年次	前期	履修カリキュラムに示した当該学期配当の科目について、それぞれの内容の理解、知識・技能を身に付ける。 1年次に形成した基盤の上に、法律学、政治学、経済学、その他関連する分野に関する概論科目を修得して、その学びを教科の指導に生かせる力の養成を目指す。また、教育の基礎的な理解に関する科目についても学ぶことで、教育の理論と方法を身に付け、教科指導法をもとに、教員に求められる実践的な専門性を広げることを目指す。
	後期	履修カリキュラムに示した当該学期配当の科目について、それぞれの内容の理解、知識・技能を身に付ける。 前期において修得した分野に関連する科目を修得して、その学びを教科の指導に生かせる力の養成を目指す。また、教育の基礎的な理解に関する科目についても前期から継続して学びを広げることで、教育の理論と方法を身に付け、教員に求められる専門性を広げることを目指す。
3年次	前期	履修カリキュラムに示した当該学期配当の科目について、それぞれの内容の理解、知識・技能を身に付ける。 今までに修得した科目をもとに、総合的探求指導法を修得し、教育の理論や方法を身に付け、更に教員に求められる専門性を高めることを目指す。
	後期	履修カリキュラムに示した当該学期配当の科目について、それぞれの内容の理解、知識・技能を身に付ける。 今までに修得した科目をもとに、教育の方法技術を修得し、教育の理論や方法を身に付け、更に教員に求められる専門性を高めることを目指す。
4年次	前期	履修カリキュラムに示した当該学期配当の科目について、それぞれの内容の理解、知識・技能を身に付ける。 後期に教育実習を行うことを念頭に置いて、これまでに修得した、法律学、政治学、社会学、経済学、哲学、倫理学、宗教学などそれぞれに関連する科目で修得した学びや、当期の教育の基礎的な理解に関する科目、道徳、生徒指導理論法の学びを、後期の実習において生かせる力の養成を目指す。それとともに、教員に求められる資質及び能力を高めることを目指す。
	後期	履修カリキュラムに示した当該学期配当の科目について、それぞれの内容の理解、知識・技能を身に付ける。 入学以来積み上げてきた各期の座学における学びを踏まえ、学校現場において実習することで、実践力の養成を目指す。実習を通じて、教員として子どもにかけられる情熱を確かなものにするとともに、開かれた社会性の涵養を目指す。

様式第7号ウ（教諭）

＜政治・政策学科＞（認定課程：高等学校教諭一種免許状（公民））

(2)具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称				
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期					
1年次	前期		法学概論		日本国憲法	生活文化概論
			政治学入門		スポーツ I	政策学概論
			経済学基礎		英語 I	
			心理学概論		AI・データサイエンス入門	
					情報処理 I A	
					情報処理 I B	
	後期		社会学概論		スポーツ II	近現代史
			哲学概論		英語 II	日本国憲法持論
2年次	前期	教育基礎論	宗教と社会			議会政治論
		教師論	民法			日本政治史
						経済史
	後期	中等教科教育法(公民) I・II	倫理学入門			マスメディア論 I
		教育制度論	国際経済学			
		特別支援教育				
		教育相談				
3年次	前期	教育心理学				比較政治学
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法				政治哲学
						欧米政治史
	後期	教育の方法技術				アジア政治史
						国際機関論
						発展途上国論
4年次	前期	教育課程論				日本の政治と外交
		生徒・進路指導論				平和安全保障論
		中等教育実習事前事後指導				
	後期	教職実践演習(中・高)				
		中等教育実習 I				

様式第7号ウ

＜経済経営学科＞(認定課程: 中学校教諭一種免許状(社会))

(1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	履修カリキュラムに示した当該学期配当の科目について、それぞれの内容の理解、知識・技能を身に付ける。 大学における初めての学びとなるこの学期において、さまざまな分野の入門レベルの科目や、施行規則第66条の6に関する科目、また、教職課程に関連する科目を修得することで、教員に求められる視野を形成する基盤をつくることを目指す。
	後期	履修カリキュラムに示した当該学期配当の科目について、それぞれの内容の理解、知識・技能を身に付ける。 前期において大学の学びを身をもって経験したこの学期において、前期から継続して学ぶ科目や、新たに学ぶさまざまな分野の入門レベルの科目を修得することで、教員に求められる視野を形成する基盤を広げることを目指す。
2年次	前期	履修カリキュラムに示した当該学期配当の科目について、それぞれの内容の理解、知識・技能を身に付ける。 1年次に形成した基盤の上に、歴史、法律、政治、経済、その他関連する分野に関する概論科目を修得して、その学びを教科の指導に生かせる力の養成を目指す。また、教育の基礎的な理解に関する科目についても学ぶことで、教育の理論と方法を身に付け、教科指導法をもとに、教員に求められる実践的な専門性を広げることを目指す。
	後期	履修カリキュラムに示した当該学期配当の科目について、それぞれの内容の理解、知識・技能を身に付ける。 前期において修得した分野に関連する科目を修得して、その学びを教科の指導に生かせる力の養成を目指す。また、教育の基礎的な理解に関する科目についても前期から継続して学びを広げることで、教育の理論と方法を身に付け、教員に求められる専門性を広げることを目指す。
3年次	前期	履修カリキュラムに示した当該学期配当の科目について、それぞれの内容の理解、知識・技能を身に付ける。 今までに修得した科目をもとに、総合的探求指導法を修得し、教育の理論や方法を身に付け、更に教員に求められる専門性を高めることを目指す。
	後期	履修カリキュラムに示した当該学期配当の科目について、それぞれの内容の理解、知識・技能を身に付ける。 今までに修得した科目をもとに、教育の方法技術を修得し、教育の理論や方法を身に付け、更に教員に求められる専門性を高めることを目指す。
4年次	前期	履修カリキュラムに示した当該学期配当の科目について、それぞれの内容の理解、知識・技能を身に付ける。 後期に教育実習を行うことを念頭に置いて、これまでに修得した、日本史及び外国史、地理学(地誌を含む。)、法律学、政治学、社会学、経済学、哲学、倫理学、宗教学などそれぞれに関連する科目で修得した学びや、当期の教育の基礎的な理解に関する科目、道徳、生徒指導理論法の学びを、後期の実習において生かせる力の養成を目指す。それとともに、教員に求められる資質及び能力を高めることを目指す。
	後期	履修カリキュラムに示した当該学期配当の科目について、それぞれの内容の理解、知識・技能を身に付ける。 入学以来積み上げてきた各期の座学における学びを踏まえ、学校現場において実習することで、実践力の養成を目指す。実習を通じて、教員として子どもにかかる情熱を確かなものにするとともに、開かれた社会性の涵養を目指す。

様式第7号ウ（教諭）

＜経済経営学科＞（認定課程：中学校教諭一種免許状（社会））

(2) 具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称				
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期					
1年次	前期		法学概論		日本国憲法	生活文化概論
			政治学入門		スポーツ I	政策学概論
			経済学基礎		英語 I	
					AI・データサイエンス入門	
					情報処理 I A	
					情報処理 I B	
	後期		地理学		スポーツ II	近現代史
			社会学概論		英語 II	日本国憲法持論
			哲学概論			
2年次	前期	中等教科教育法(社会) I・II	宗教と社会			経済史
		教育基礎論				日本政治史
		教師論				議会政治論
	後期	中等教科教育法(公民) I・II	日本史概論			金融論
		教育制度論	外国史概論			マスメディア論
		特別支援教育	倫理学入門			
		教育相談				
3年次	前期	教育心理学				国際貿易・流通論
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法				
	後期	教育の方法技術				証券市場論
					銀行論	
4年次	前期	教育課程論				
		道徳理論と指導法				
		生徒・進路指導論				
		中等教育実習事前事後指導				
	後期	教職実践演習(中・高)				
		中等教育実習 I・II				

様式第7号ウ

＜経済経営学科＞(認定課程:高等学校教諭一種免許状(公民))

(1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	履修カリキュラムに示した当該学期配当の科目について、それぞれの内容の理解、知識・技能を身に付ける。 大学における初めての学びとなるこの学期において、さまざまな分野の入門レベルの科目や、施行規則第66条の6に関する科目、また、教職課程に関連する科目を修得することで、教員に求められる視野を形成する基盤をつくることを目指す。
	後期	履修カリキュラムに示した当該学期配当の科目について、それぞれの内容の理解、知識・技能を身に付ける。 前期において大学の学びを身をもって経験したこの学期において、前期から継続して学ぶ科目や、新たに学ぶさまざまな分野の入門レベルの科目を修得することで、教員に求められる視野を形成する基盤を広げることを目指す。
2年次	前期	履修カリキュラムに示した当該学期配当の科目について、それぞれの内容の理解、知識・技能を身に付ける。 1年次に形成した基盤の上に、法律学、政治学、経済学、その他関連する分野に関する概論科目を修得して、その学びを教科の指導に生かせる力の養成を目指す。また、教育の基礎的な理解に関する科目についても学ぶことで、教育の理論と方法を身に付け、教科指導法をもとに、教員に求められる実践的な専門性を広げることを目指す。
	後期	履修カリキュラムに示した当該学期配当の科目について、それぞれの内容の理解、知識・技能を身に付ける。 前期において修得した分野に関連する科目を修得して、その学びを教科の指導に生かせる力の養成を目指す。また、教育の基礎的な理解に関する科目についても前期から継続して学びを広げることで、教育の理論と方法を身に付け、教員に求められる専門性を広げることを目指す。
3年次	前期	履修カリキュラムに示した当該学期配当の科目について、それぞれの内容の理解、知識・技能を身に付ける。 今までに修得した科目をもとに、総合的探求指導法を修得し、教育の理論や方法を身に付け、更に教員に求められる専門性を高めることを目指す。
	後期	履修カリキュラムに示した当該学期配当の科目について、それぞれの内容の理解、知識・技能を身に付ける。 今までに修得した科目をもとに、教育の方法技術を修得し、教育の理論や方法を身に付け、更に教員に求められる専門性を高めることを目指す。
4年次	前期	履修カリキュラムに示した当該学期配当の科目について、それぞれの内容の理解、知識・技能を身に付ける。 後期に教育実習を行うことを念頭に置いて、これまで修得した、法律学、政治学、社会学、経済学、哲学、倫理学、宗教学などそれぞれに関連する科目で修得した学びや、当期の教育の基礎的な理解に関する科目、道徳、生徒指導理論法の学びを、後期の実習において生かせる力の養成を目指す。それとともに、教員に求められる資質及び能力を高めることを目指す。
	後期	履修カリキュラムに示した当該学期配当の科目について、それぞれの内容の理解、知識・技能を身に付ける。 入学以来積み上げてきた各期の座学における学びを踏まえ、学校現場において実習することで、実践力の養成を目指す。実習を通じて、教員として子どもにかけられる情熱を確かなものにするとともに、開かれた社会性の涵養を目指す。

様式第7号ウ（教諭）

＜経済経営学科＞（認定課程：高等学校教諭一種免許状（公民））

(2) 具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称				
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期					
1年次	前期		法学概論		日本国憲法	生活文化概論
			政治学入門		スポーツ I	政策学概論
			経済学基礎		英語 I	経営学入門
			心理学概論		AI・データサイエンス入門	
					情報処理 I A	
					情報処理 I B	
	後期		社会学概論		スポーツ II	近現代史
			哲学概論		英語 II	日本国憲法持論
2年次	前期	教育基礎論	宗教と社会			経済史
		教師論	民法			日本政治史
						議会政治論
	後期	中等教科教育法(公民) I・II	倫理学入門			金融論
		教育制度論	国際経済学			マスメディア論
		特別支援教育				
		教育相談				
3年次	前期	教育心理学				国際貿易・流通論
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法				
	後期	教育の方法技術				証券市場論
					銀行論	
4年次	前期	教育課程論				
		生徒・進路指導論				
		中等教育実習事前事後指導				
	後期	教職実践演習(中・高)				
		中等教育実習 I				

様式第7号ウ

＜グローバルビジネス学科＞（認定課程：中学校教諭一種免許状（社会）

（1）各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	履修カリキュラムに示した当該学期配当の科目について、それぞれの内容の理解、知識・技能を身に付ける。 大学における初めての学びとなるこの学期において、さまざまな分野の入門レベルの科目や、施行規則第66条の6に関する科目、また、教職課程に関連する科目を修得することで、教員に求められる視野を形成する基盤をつくることを目指す。
	後期	履修カリキュラムに示した当該学期配当の科目について、それぞれの内容の理解、知識・技能を身に付ける。 前期において大学の学びを身をもって経験したこの学期において、前期から継続して学ぶ科目や、新たに学ぶさまざまな分野の入門レベルの科目を修得することで、教員に求められる視野を形成する基盤を広げることを目指す。
2年次	前期	履修カリキュラムに示した当該学期配当の科目について、それぞれの内容の理解、知識・技能を身に付ける。 1年次に形成した基盤の上に、歴史、法律、政治、経済、その他関連する分野に関する概論科目を修得して、その学びを教科の指導に生かせる力の養成を目指す。また、教育の基礎的な理解に関する科目についても学ぶことで、教育の理論と方法を身に付け、教科指導法をもとに、教員に求められる実践的な専門性を広げることを目指す。
	後期	履修カリキュラムに示した当該学期配当の科目について、それぞれの内容の理解、知識・技能を身に付ける。 前期において修得した分野に関連する科目を修得して、その学びを教科の指導に生かせる力の養成を目指す。また、教育の基礎的な理解に関する科目についても前期から継続して学びを広げることで、教育の理論と方法を身に付け、教員に求められる専門性を広げることを目指す。
3年次	前期	履修カリキュラムに示した当該学期配当の科目について、それぞれの内容の理解、知識・技能を身に付ける。 今までに修得した科目をもとに、総合的探求指導法を修得し、教育の理論や方法を身に付け、更に教員に求められる専門性を高めることを目指す。
	後期	履修カリキュラムに示した当該学期配当の科目について、それぞれの内容の理解、知識・技能を身に付ける。 今までに修得した科目をもとに、教育の方法技術を修得し、教育の理論や方法を身に付け、更に教員に求められる専門性を高めることを目指す。
4年次	前期	履修カリキュラムに示した当該学期配当の科目について、それぞれの内容の理解、知識・技能を身に付ける。 後期に教育実習を行うことを念頭に置いて、これまでに修得した、日本史及び外国史、地理学（地誌を含む。）、法律学、政治学、社会学、経済学、哲学、倫理学、宗教学などそれぞれに関連する科目で修得した学びや、当期の教育の基礎的な理解に関する科目、道徳、生徒指導理論法の学びを、後期の実習において生かせる力の養成を目指す。それとともに、教員に求められる資質及び能力を高めることを目指す。
	後期	履修カリキュラムに示した当該学期配当の科目について、それぞれの内容の理解、知識・技能を身に付ける。 入学以来積み上げてきた各期の座学における学びを踏まえ、学校現場において実習することで、実践力の養成を目指す。実習を通じて、教員として子どもにかけられる情熱を確かなものにするとともに、開かれた社会性の涵養を目指す。

様式第7号ウ（教諭）

<グローバルビジネス学科>（認定課程：中学校教諭一種免許状（社会））

(2) 具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称					
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目	
年次	時期						
1年次	前期		法学概論		日本国憲法	生活文化概論	
			政治学入門		AI・データサイエンス入門	経営学入門	
			経済学基礎		Basic English I	政策学概論	
	後期				スポーツ I	企業と社会的価値創造	
			地理学		スポーツ II	ビジネス文化	
			社会学概論				
2年次	前期	中等教科教育法(社会) I・II	宗教と社会			異文化コミュニケーション論	
		教育基礎論				マーケティング論	
		教師論				ファイナンス論	
	後期	中等教科教育法(公民) I・II	日本史概論			国際金融論	
		教育制度論	外国史概論			金融論	
		特別支援教育	倫理学入門				
		教育相談					
3年次	前期	教育心理学					
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法						
	後期	教育の方法技術					
4年次	前期	教育課程論					
		道徳理論と指導法					
		生徒・進路指導論					
		中等教育実習事前事後指導					
	後期	教職実践演習(中・高)					
		中等教育実習 I・II					

様式第7号ウ

＜グローバルビジネス学科＞（認定課程：高等学校教諭一種免許状（公民））

(1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	履修カリキュラムに示した当該学期配当の科目について、それぞれの内容の理解、知識・技能を身に付ける。 大学における初めての学びとなるこの学期において、さまざまな分野の入門レベルの科目や、施行規則第66条の6に関する科目、また、教職課程に関連する科目を修得することで、教員に求められる視野を形成する基盤をつくることを目指す。
	後期	履修カリキュラムに示した当該学期配当の科目について、それぞれの内容の理解、知識・技能を身に付ける。 前期において大学の学びを身をもって経験したこの学期において、前期から継続して学ぶ科目や、新たに学ぶさまざまな分野の入門レベルの科目を修得することで、教員に求められる視野を形成する基盤を広げることを目指す。
2年次	前期	履修カリキュラムに示した当該学期配当の科目について、それぞれの内容の理解、知識・技能を身に付ける。 1年次に形成した基盤の上に、法律学、政治学、経済学、その他関連する分野に関する概論科目を修得して、その学びを教科の指導に生かせる力の養成を目指す。また、教育の基礎的な理解に関する科目についても学ぶことで、教育の理論と方法を身に付け、教科指導法をもとに、教員に求められる実践的な専門性を広げることを目指す。
	後期	履修カリキュラムに示した当該学期配当の科目について、それぞれの内容の理解、知識・技能を身に付ける。 前期において修得した分野に関連する科目を修得して、その学びを教科の指導に生かせる力の養成を目指す。また、教育の基礎的な理解に関する科目についても前期から継続して学びを広げることで、教育の理論と方法を身に付け、教員に求められる専門性を広げることを目指す。
3年次	前期	履修カリキュラムに示した当該学期配当の科目について、それぞれの内容の理解、知識・技能を身に付ける。 今までに修得した科目をもとに、総合的探求指導法を修得し、教育の理論や方法を身に付け、更に教員に求められる専門性を高めることを目指す。
	後期	履修カリキュラムに示した当該学期配当の科目について、それぞれの内容の理解、知識・技能を身に付ける。 今までに修得した科目をもとに、教育の方法技術を修得し、教育の理論や方法を身に付け、更に教員に求められる専門性を高めることを目指す。
4年次	前期	履修カリキュラムに示した当該学期配当の科目について、それぞれの内容の理解、知識・技能を身に付ける。 後期に教育実習を行うことを念頭に置いて、これまで修得した、法律学、政治学、社会学、経済学、哲学、倫理学、宗教学などそれぞれに関連する科目で修得した学びや、当期の教育の基礎的な理解に関する科目、道徳、生徒指導理論法の学びを、後期の実習において生かせる力の養成を目指す。それとともに、教員に求められる資質及び能力を高めることを目指す。
	後期	履修カリキュラムに示した当該学期配当の科目について、それぞれの内容の理解、知識・技能を身に付ける。 入学以来積み上げてきた各期の座学における学びを踏まえ、学校現場において実習することで、実践力の養成を目指す。実習を通じて、教員として子どもにかける情熱を確かなものにするとともに、開かれた社会性の涵養を目指す。

様式第7号ウ（教諭）

＜グローバルビジネス学科＞（認定課程：高等学校教諭一種免許状（公民））

(2)具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称				
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期					
1年次	前期		法学概論		日本国憲法	生活文化概論
			政治学入門		AI・データサイエンス入門	経営学入門
			経済学基礎		Basic English I	政策学概論
			心理学概論		スポーツ I	企業と社会的価値創造
	後期		社会学概論		スポーツ II	ビジネス文化
			哲学概論			
2年次	前期	教育基礎論	宗教と社会			異文化コミュニケーション論
		教師論	アジア経済論			マーケティング論
						ファイナンス論
	後期	中等教科教育法(公民) I・II	倫理学入門			国際金融論
		教育制度論	欧米経済論			金融論
		特別支援教育				
		教育相談				
3年次	前期	教育心理学				
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法				
	後期	教育の方法技術				
4年次	前期	教育課程論				
		生徒・進路指導論				
		中等教育実習事前事後指導				
	後期	教職実践演習(中・高)				
		中等教育実習 I				

様式第7号ウ

＜情報学科＞（認定課程：高等学校教諭一種免許状（情報））

(1) 各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	履修カリキュラムに示した当該学期配当の科目について、それぞれの内容の理解、知識・技能を身に付ける。 大学における初めての学びとなるこの学期において、さまざまな分野の入門レベルの科目や、施行規則第66条の6に関する科目、また、教職課程に関連する科目を修得することで、教員に求められる視野を形成する基盤をつくることを目指す。
	後期	履修カリキュラムに示した当該学期配当の科目について、それぞれの内容の理解、知識・技能を身に付ける。 前期において大学の学びを身をもって経験したこの学期において、前期から継続して学ぶ科目や、新たに学ぶさまざまな分野の入門レベルの科目を修得することで、教員に求められる視野を形成する基盤を広げることを目指す。
2年次	前期	履修カリキュラムに示した当該学期配当の科目について、それぞれの内容の理解、知識・技能を身に付ける。 1年次に形成した基盤、更に教科科目の修得をして、その学びを教科の指導に生かせる力の養成を目指す。また、教育の基礎的な理解に関する科目についても学ぶことで、教育の理論と方法を身に付け、教科指導法をもとに、教員に求められる実践的な専門性を広げることを目指す。
	後期	履修カリキュラムに示した当該学期配当の科目について、それぞれの内容の理解、知識・技能を身に付ける。 前期において修得した分野に関連する科目を修得して、その学びを教科の指導に生かせる力の養成を目指す。また、教育の基礎的な理解に関する科目についても前期から継続して学びを広げることで、教育の理論と方法を身に付け、教員に求められる専門性を広げることを目指す。
3年次	前期	履修カリキュラムに示した当該学期配当の科目について、それぞれの内容の理解、知識・技能を身に付ける。 今までに修得した科目をもとに、総合的探求指導法を修得し、教育の理論や方法を身に付け、更に教員に求められる専門性を高めることを目指す。
	後期	履修カリキュラムに示した当該学期配当の科目について、それぞれの内容の理解、知識・技能を身に付ける。 今までに修得した科目をもとに、当期の教育の基礎的な理解に関する科目、教育の方法技術を修得し、教育の理論や方法を身に付け、更に教員に求められる専門性を高めることを目指す。
4年次	前期	履修カリキュラムに示した当該学期配当の科目について、それぞれの内容の理解、知識・技能を身に付ける。 後期に教育実習を行うことを念頭に置いて、これまでに修得した学びを、後期の実習において生かせる力の養成を目指す。それとともに、教員に求められる資質及び能力を高めることを目指す。
	後期	履修カリキュラムに示した当該学期配当の科目について、それぞれの内容の理解、知識・技能を身に付ける。 入学以来積み上げてきた各期の座学における学びを踏まえ、学校現場において実習することで、実践力の養成を目指す。実習を通じて、教員として子どもにかけられる情熱を確かなものにするとともに、開かれた社会性の涵養を目指す。

様式第7号ウ（教諭）

<情報学科>（認定課程：高等学校教諭一種免許状（情報））

(2) 具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称				
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期					
1年次	前期		データサイエンス基礎		英語 I	情報学概論
					AI・データサイエンス入門	
	後期				日本国憲法	
					英語 II	
通期				スポーツ	基礎演習	
2年次	前期	中等教科教育法(情報) I・II	情報システム			データエンジニアリング基礎
		教育基礎論	情報科学			AI基礎
		教師論	コンピュータシステム基礎			AI社会の情報倫理と法
	後期	教育制度論	信号処理			データ構造とアルゴリズム
		特別支援教育	プログラミング I			データ分析基礎
		教育相談				データマイニング
	通年					専門演習 I
3年次	前期	教育心理学	情報社会論			データ分析演習
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	情報政策論			オペレーティングシステム
			コンピュータネットワーク			AI技術と社会
			プログラミング II			情報異文化論
	後期	教育の方法技術	マルチメディア論			ソフトウェア工学
						機械学習・深層学習
通年					専門演習 II	
4年次	前期	教育課程論				
		生徒・進路指導論				
		中等教育実習事前事後指導				
	後期	教職実践演習(中・高)				
		中等教育実習 I				